

中 世



赤坂山（展望台付近）

概 観

中世とは、源頼朝が平氏の政権を倒して鎌倉幕府を開いた時（一一九二）から、織田信長が戦国の動乱期を統一して、十五代将軍足利義昭を追放した一五七三年までの約三百八十年間で、時代区分としては鎌倉時代、南北朝時代、室町時代（戦国期を含む）の三つに分けられる。

この時代は武家による政権が成立し進展していく時代である。又前代に成立した荘園制が武士による侵略を受けながら、変質し崩壊していく時代でもある。このように中世は政治、経済、社会のあらゆる面において、封建制が発生し成長し確立していく時代であった。それでは古代において肥前国の政治、文化の中心地として存在したわが大和町は、中世においてはどのような歴史を展開したのであろうか。肥前国府、特に現在の佐賀市郡、小城郡の歴史の移り変わりに関連させながら、時代区分別にその歴史を探ってみよう。

一、鎌倉時代

概 説

保元・平治の乱の勝利により権力をつかんだ平清盛は、その地位を更に強固にするため、妻の妹を後白河院に勤めて後の高倉天皇を生ませ、外戚の地位に就くと共に太政大臣の地位にまで進んだ。この一六七年前後の年間で平氏の勢力の最も盛んな時代であった。しかし、「平氏にあらざれば人にあらざ」と放言してはばからない一族のおごりは、次第に人々を反平氏の行動にかり立てていった。このような